2019年12月2日

株式会社ボイジャー

ボイジャーの電子出版支援サービスを 工学院大学附属中・高の授業が活用 創作課題を電子で共有・公開

株式会社ボイジャー(本社:東京都渋谷区神宮前、代表取締役:鎌田純子、以下ボイジャー)は、学校の授業として電子書籍の作成、共有、公開を取り入れるためのサービスを開発し、工学院大学附属中学校・高等学校(校長:平方邦行)に「Romancer(ロマンサー)クラスルーム」として提供いたしました。

学校で電子書籍を作り、共有することを学ぶ意味とは何か? 今や誰もがスマートフォンを持ち、Webやアプリで交流することが日常となっています。ネットを通じて一瞬で広がり、溢れかえる情報発信への対処を学ばずに生きていくことはできません。本を作る工程には、情報をまとめ、吟味し、人に見てもらう一連が含まれています。教育の一つとして、デジタルプラットフォーム上で情報の書き手となること、自らの発した情報を共有し影響を知る体験を持つことは必須となるでしょう。

工学院大学附属中学校・高等学校は2016年度よりボイジャーと協力して電子書籍の制作を授業に取り入れてきました。*1 その中で、学校での活用には「作品の共有」と「学校内での公開」が重要であることが明確になりました。その要望を反映し、本サービスには学校向けとして以下の機能が備わっています。

- □ クラスを単位としたグループ内で作品を共有する機能
- □ 生徒同士や、生徒と先生の間など、限られた相手に限定して読ませる機能
- □ 生徒と先生の間でメモを共有することにより創作指導を円滑にする機能
- □ 学内関係者のみ見られるサイト(学内ライブラリ)機能



電子書籍作成機能 Word原稿やPDFから電子書籍(EPUB)に変換



共有機能 クラス内、先生と共有して読み合わせ



閲覧機能 特別なアプリをインストールしなくても Webブラウザだけで閲覧可能



学内公開機能 専用に用意された学内ライブラリで公開

同校では2019年度二学期の「デザイン思考」の授業から活用を開始し、生徒は思い思いの作品を完成させて学内サイトでの公開を実現しました。現在中学2年生、3年生が授業で電子書籍を作成しています。今後さらに英文創作の授業等、授業での活用範囲を広げていく予定です。

今後ボイジャーではRomancerクラスルームを基準に、電子書籍をグループで作成、共有するサービスを、中学・高校だけでなく大学の授業・ゼミなど電子書籍の共有が有効な分野で広く利用していただけるよう展開してまいります。

*1:参考記事「13歳、タブレットで出版初体験」 https://romancer.voyager.co.jp/170120_special-class

株式会社ボイジャーについて

代表取締役:鎌田純子

ホームページ: https://www.voyager.co.jp

1992年創業。米国ボイジャーとの合弁。現在は独立企業。日本で真っ先にデジタル出版に取り組み、今日まで市場開発を続けてきた。エキスパンドブック、T-Time(ティータイム)、dotBook(ドットブック)の開発元。デジタル出版のWeb(ウェブ)への移行の状況を受け止め、2010年からインターネットブラウザをリーダーとしたデジタル出版の活動を強化し、"Books in Browsers(ウェブブラウザーの中の本)"を基準としたRomancer(ロマンサー)、BinB(ビーインビー)の市場導入を行った。同時にWebでの出版に際して、フォーマットの世界標準を重視し、IDPF(International Digital Publishing Forum)やW3C(the World Wide Web Consortium)に参加している。また、EPUB日本語基準研究グループ(EPUBJP)を推進する。出版は「すべての人のメディアである」という考えを堅持し、新時代の技術や方法を多くの人々に寄与する活動を続けている。

工学院大学附属中学校・高等学校について

校長:平方邦行

ホームページ:https://www.js.kogakuin.ac.jp/

※ 商標について

T-Time、.BOOK/ドットブック、BinB、Romancer、Power Thumbは、株式会社ボイジャーの登録商標です。会社名または製品名は、各社の商標または登録商標です。

報道関係お問い合わせ先

株式会社ボイジャー WEBパブリッシング事業部 小池・蒲生

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-41-14 電話: 03-5467-7070 / FAX: 03-5467-7080

Email: infomgr@voyager.co.jp